

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新**木曾川中流域観光振興推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3149) E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,300 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 12,300 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,300 |
| 決定額 | 12,300 | 12,300 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍において、生活スタイルの変化とともに、旅行の目的や嗜好も変化している。木曾川中流域には、木曾川が育んだ豊かな「自然」、「岐阜の宝もの」である中山道や地歌舞伎などの「伝統文化」、ぎふ清流里山公園、ワールド・ローズ・ガーデン、リバー・ポート・パークなどの「アウトドア」といったコロナ社会のニーズにマッチするスポットが集積している。こうした資源を活用し、このエリアの「にぎわい創出」を図るため、流域の官民連携による「木曾川中流域観光振興協議会」をR3.7月に設立したところ。

これを機に、統一コンセプトに基づくプロモーションを展開し、アフターコロナにおける国内外からの観光誘客及び観光消費額の拡大を図るとともに、持続可能な観光地づくりに対する地域の理解促進・機運醸成につなげる。

(2) 事業内容

- ①PRツール制作 (3,602 千円)
- ②連携イベント開催事業 (5,003 千円)
- ③住民意識調査事業 (3,405 千円)
- ④「木曾川中流域観光振興協議会」開催 (290 千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

本事業は複数市町にまたがる観光の振興を目的とする事業であり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|---------------------|
| 報償費 | 32 | 「木曾川中流域観光振興協議会」座長謝金 |
| 旅費 | 246 | 協議会座長、職員旅費 |
| 使用料 | 12 | 会議室使用料 |
| 委託料 | 12,010 | PRツール制作、連携イベント開催 |
| 合計 | 12,300 | |

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創成総合戦略」

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

(2) 後年度の財政負担

短期的に達成できるものではなく、一定期間、継続して行う必要がある

事業評価調書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 大阪・関西万博を見据え、流域の官民が連携し、統一コンセプトに基づくプロモーションを展開することで国内外からの観光誘客及び観光消費額の拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| | | | | | | % |
| 観光消費の経済波及効果 | | | | | | % |
| 観光入込客数（実数） | | | | | | % |
| 外国人延べ宿泊数 | | | | | | % |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和2年度 | ・取組内容と成果を記載してください。 |
| 令和3年度 | 令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___% |
| 令和4年度 | 令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 木曽川中流域の認知度向上及びブランド力強化 ・ 持続可能な観光地づくりに対する地域の理解促進及び機運醸成 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>引き続き、統一コンセプトに基づくプロモーションを展開するとともに、観光客の意識調査や、体験型コンテンツの充実、商品開発等を進める。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p> | <p>【〇〇課】</p> |